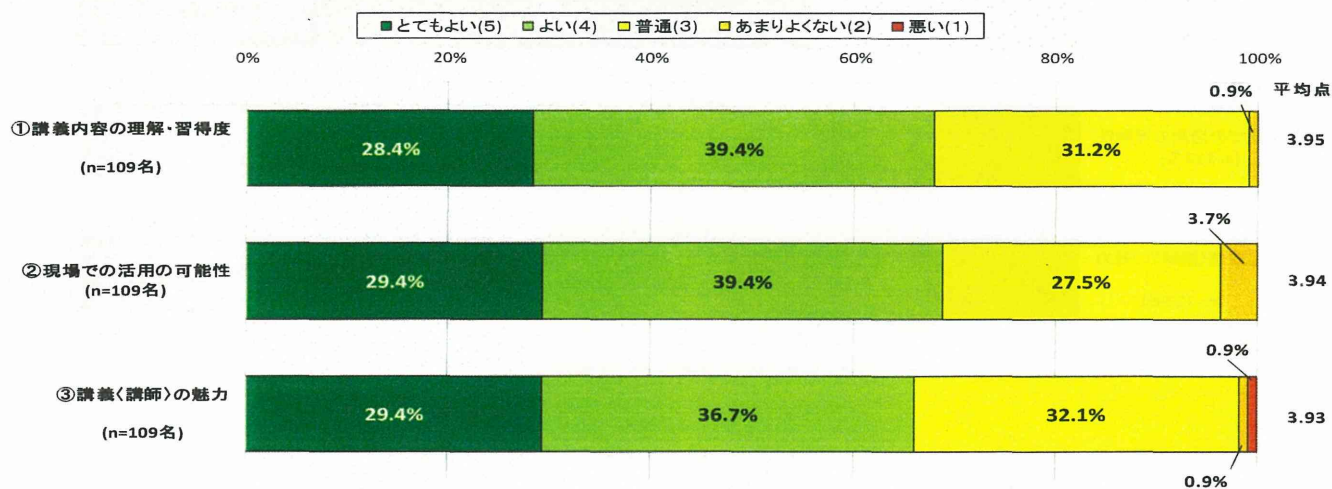
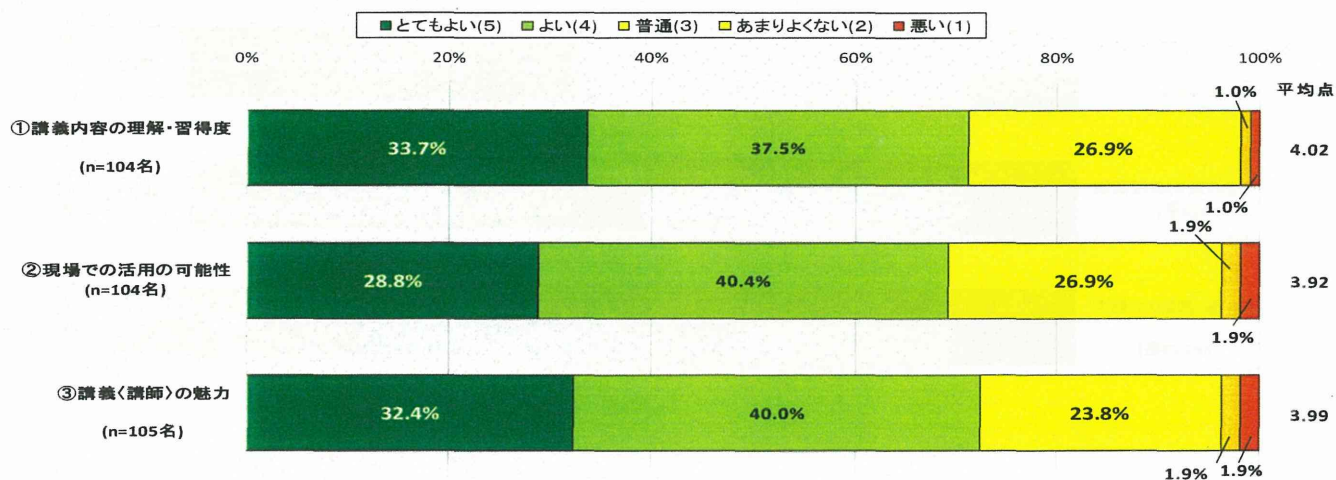


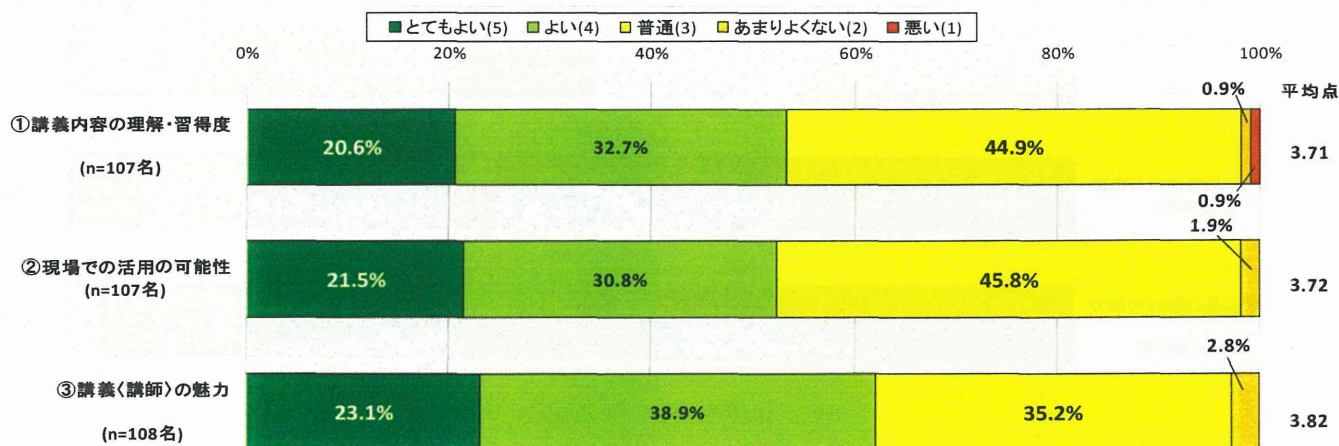
講義Ⅰ 在宅医療における総合機能評価と疾病管理



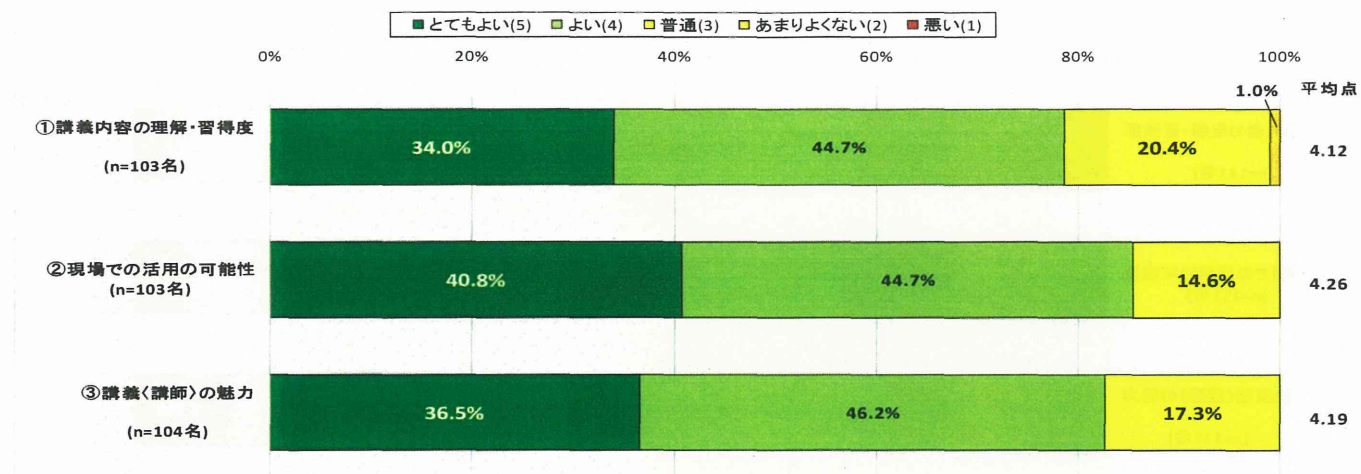
講義Ⅱ 在宅医療を支える地域医療システムの構築～療養病床への期待～



講義Ⅲ 在宅医療と地域連携

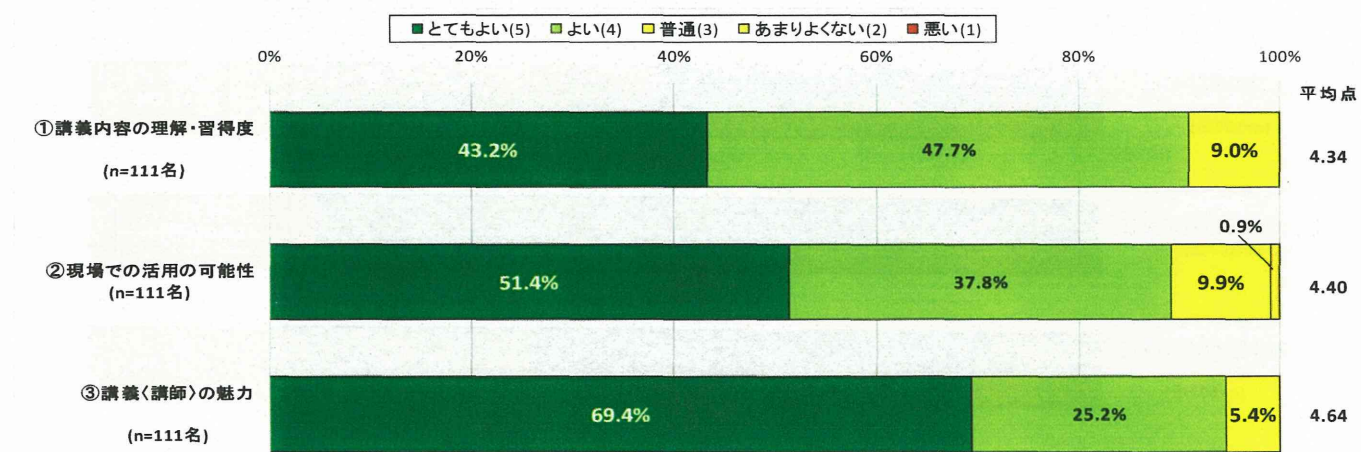


## 講義Ⅳ 在宅医療における診療のポイント（ワークショップ）

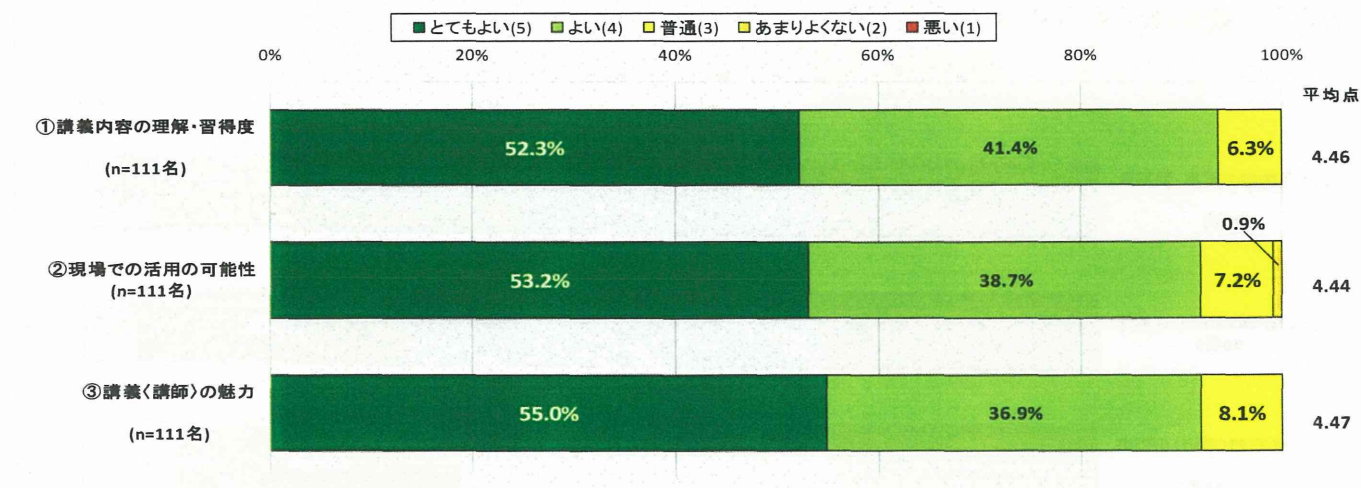


## 5月19日(日) 東京研修センター

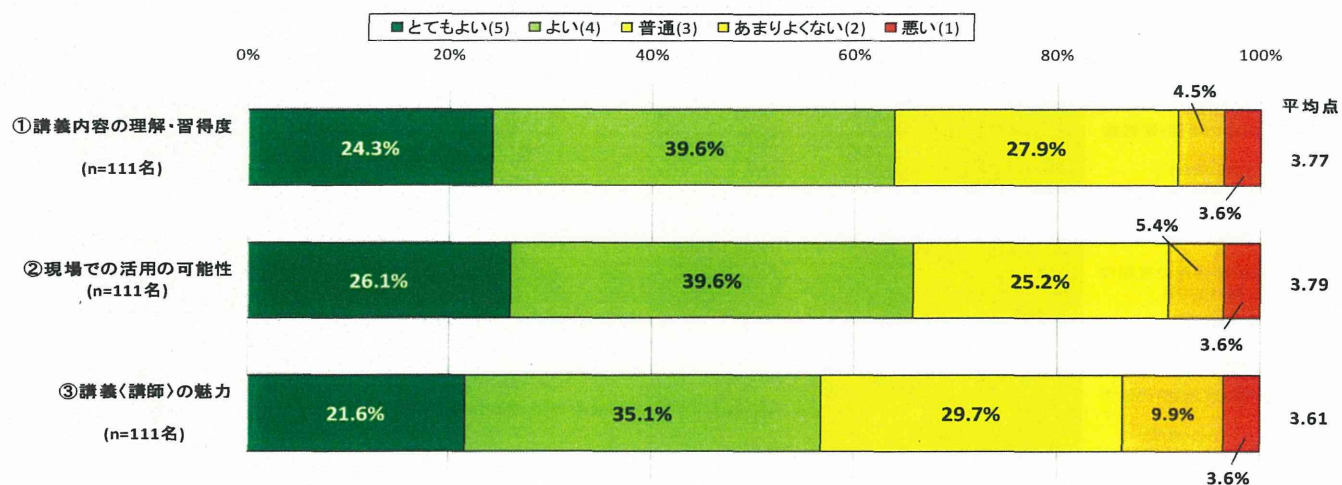
### 講義Ⅰ 脳卒中疾患パスのリハビリテーション



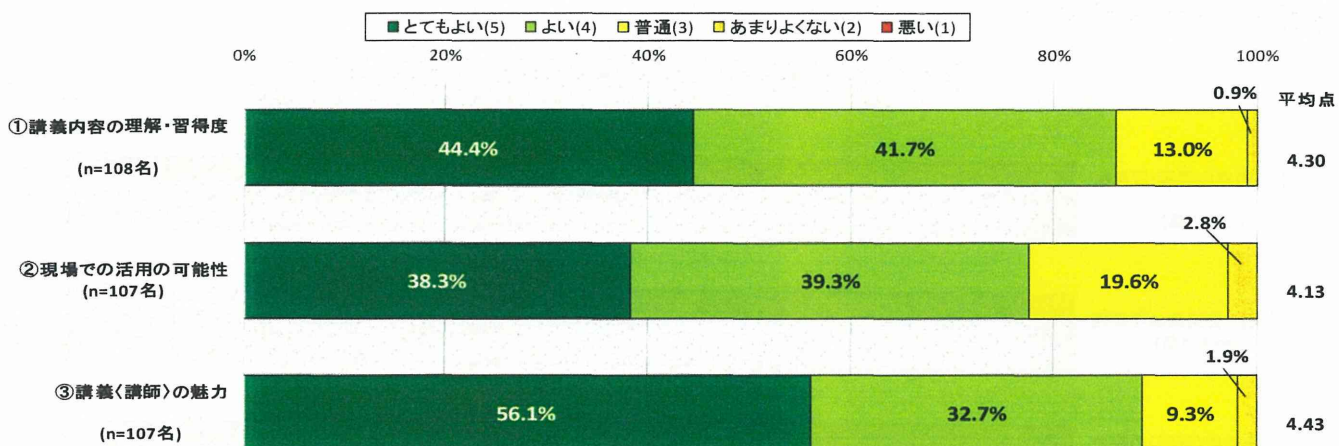
### 講義Ⅱ 在宅医療における口腔管理



### 講義Ⅲ 在宅療養支援診療所の医療の実際～運動器疾患の管理～

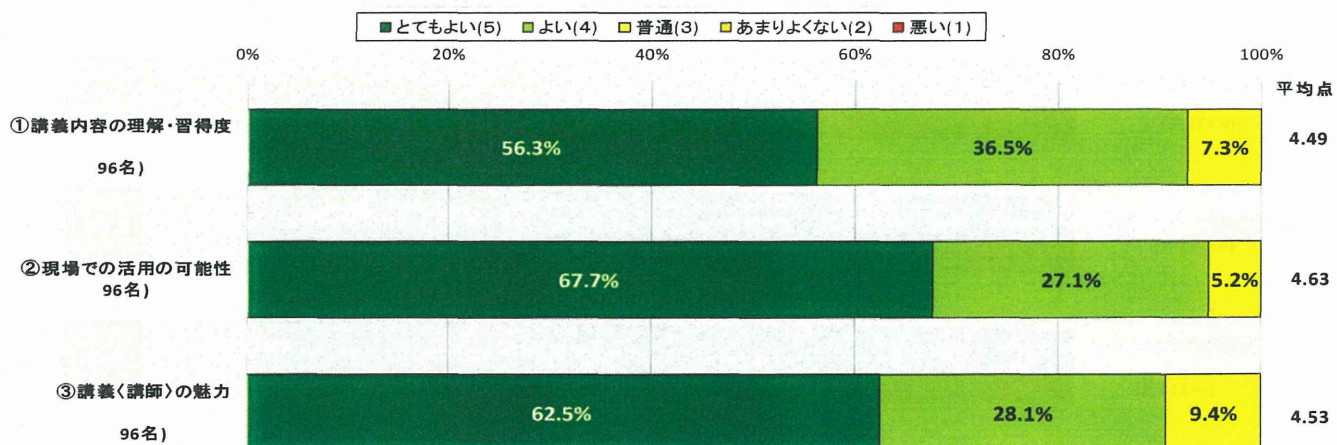


### 講義Ⅳ 在宅医療推進の必要性和方向性～連携について～

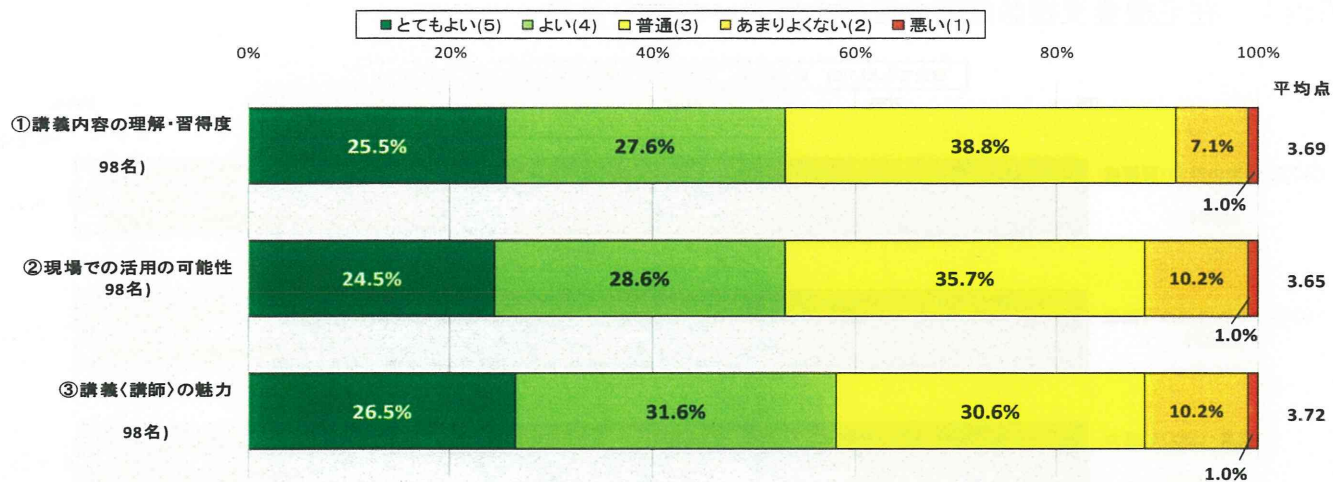


6月15日(土) 東京研修センター

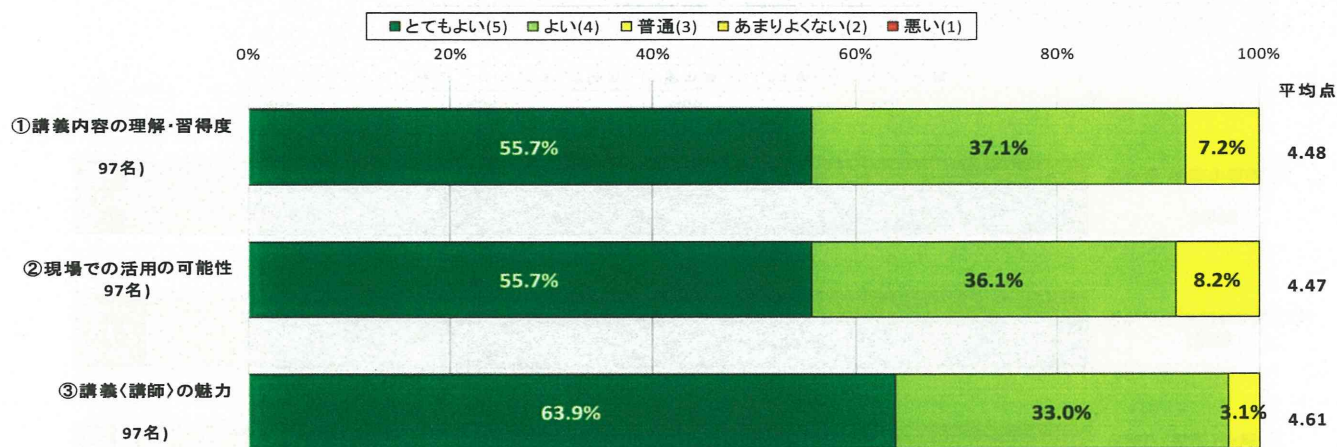
### 講義Ⅰ 在宅医療における薬物療法



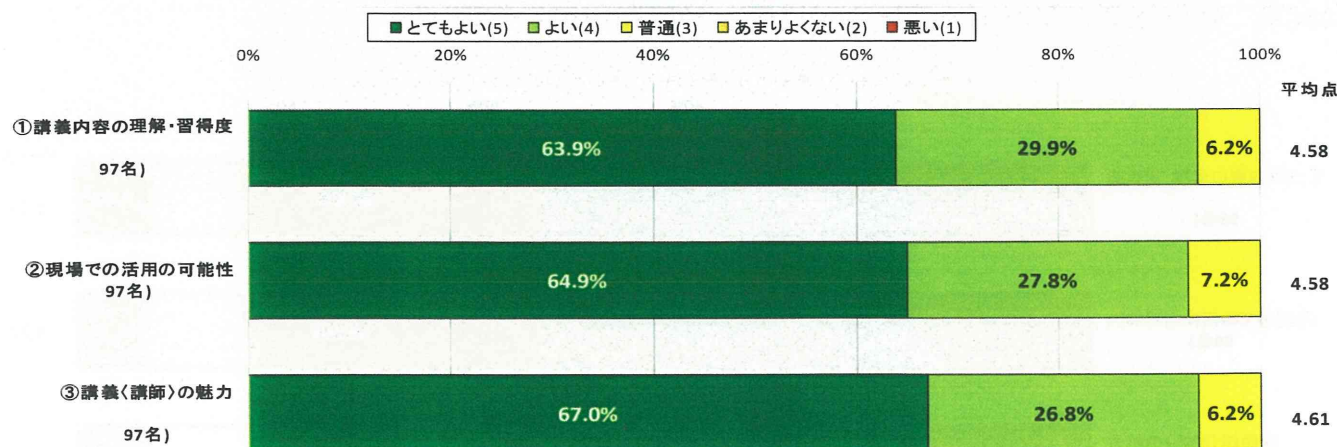
## 講義Ⅱ 今後の在宅医療の方向性



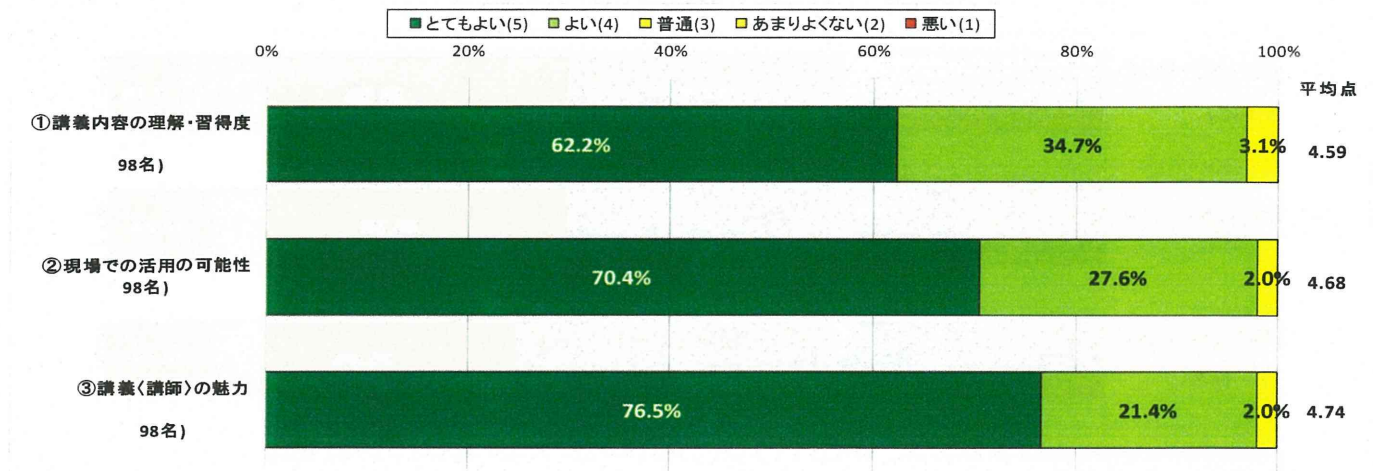
## 講義Ⅲ 在宅療養支援診療所の医療の実際～発熱の管理～



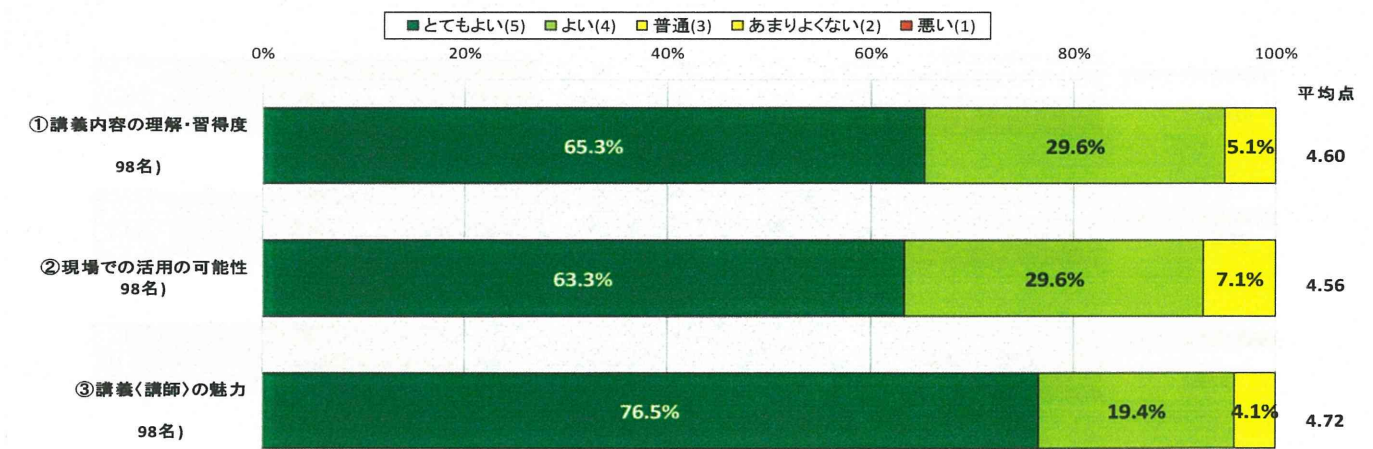
## 講義Ⅳ 在宅療養支援診療所の医療の実際～経管を含む栄養の管理～



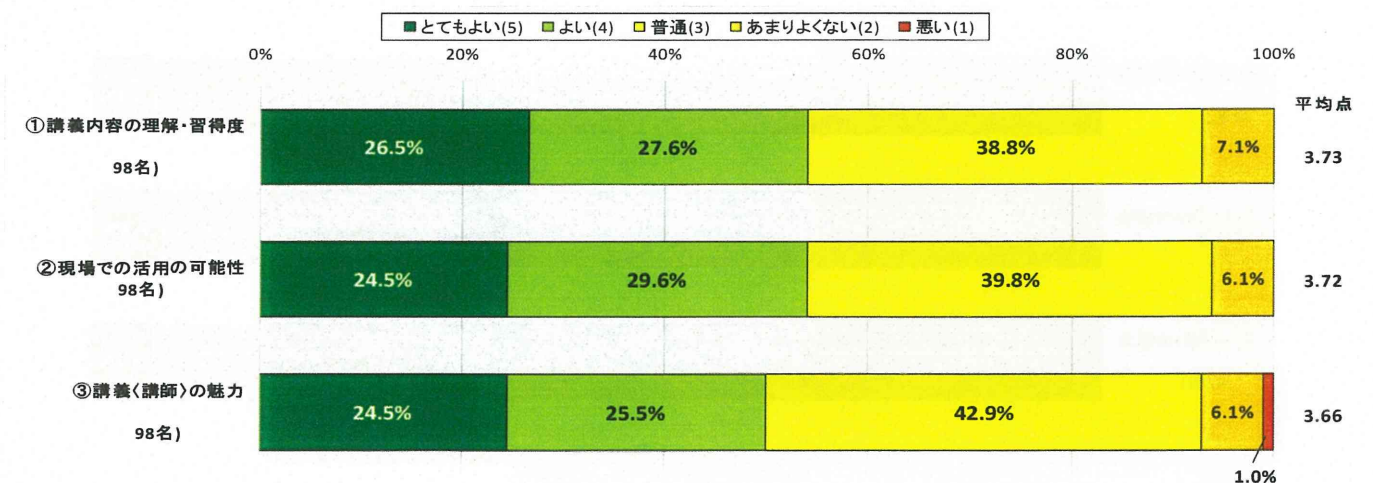
講義Ⅰ 在宅療養支援診療所の医療の実際～麻薬の管理～



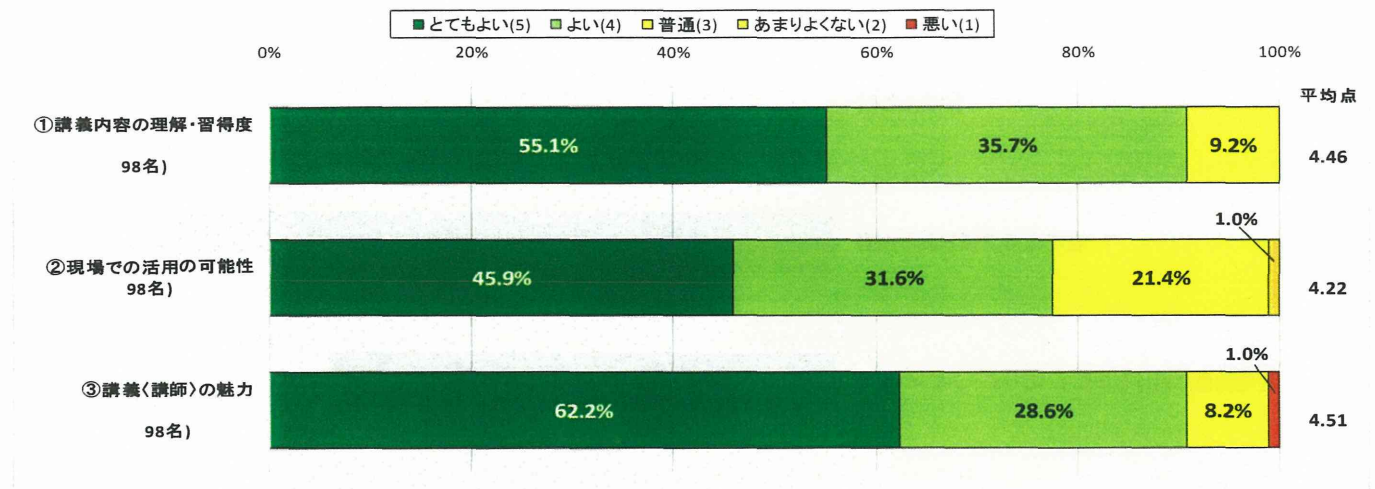
講義Ⅱ 在宅療養支援診療所の医療の実際～終末期医療～



講義Ⅲ 在宅療養支援診療所の医療の実際～泌尿器疾患の管理～

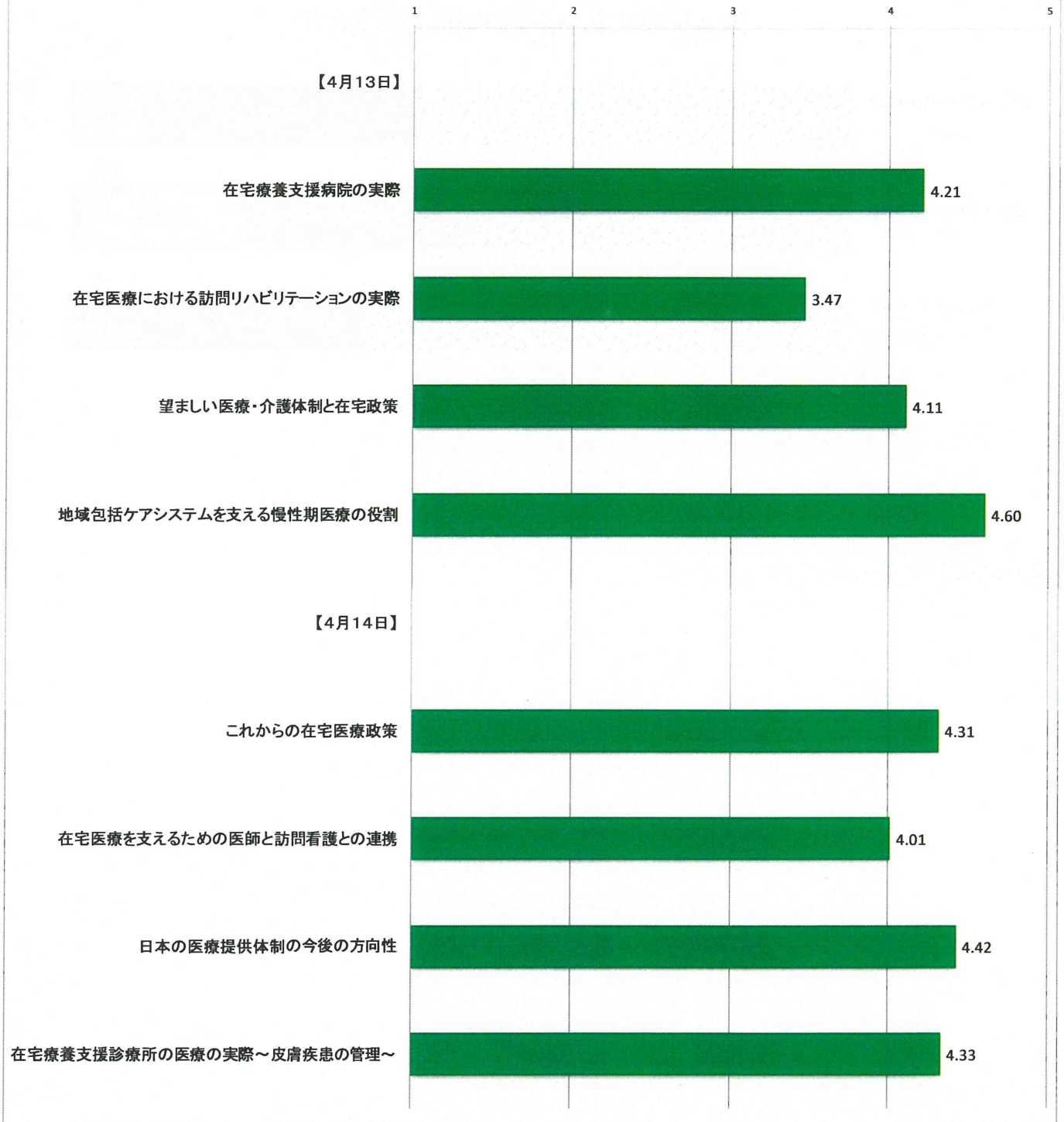


## 講義Ⅳ 在宅医療における神経難病と認知症

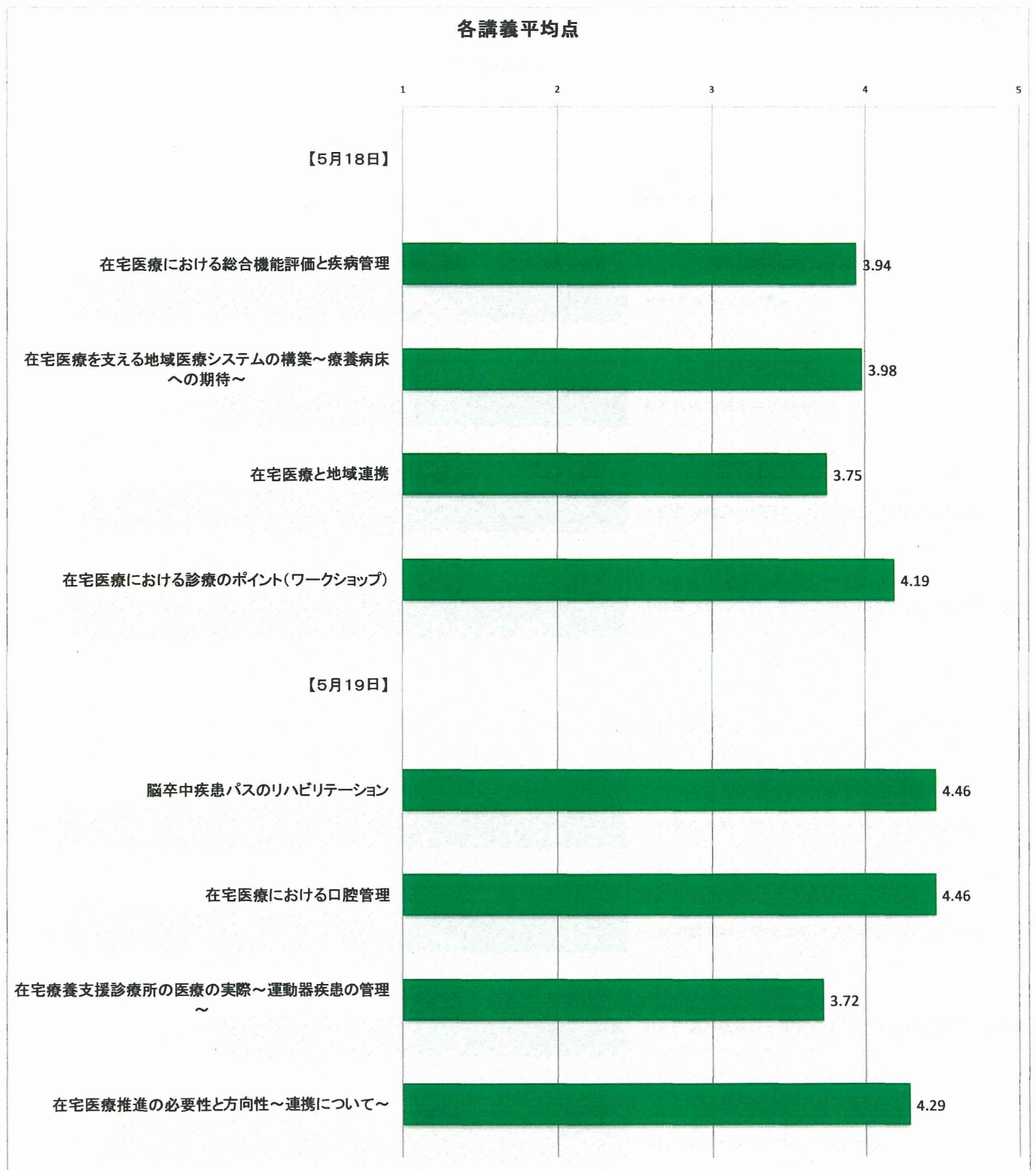


## 全講義の平均ポイント Part I

### 各講義平均点

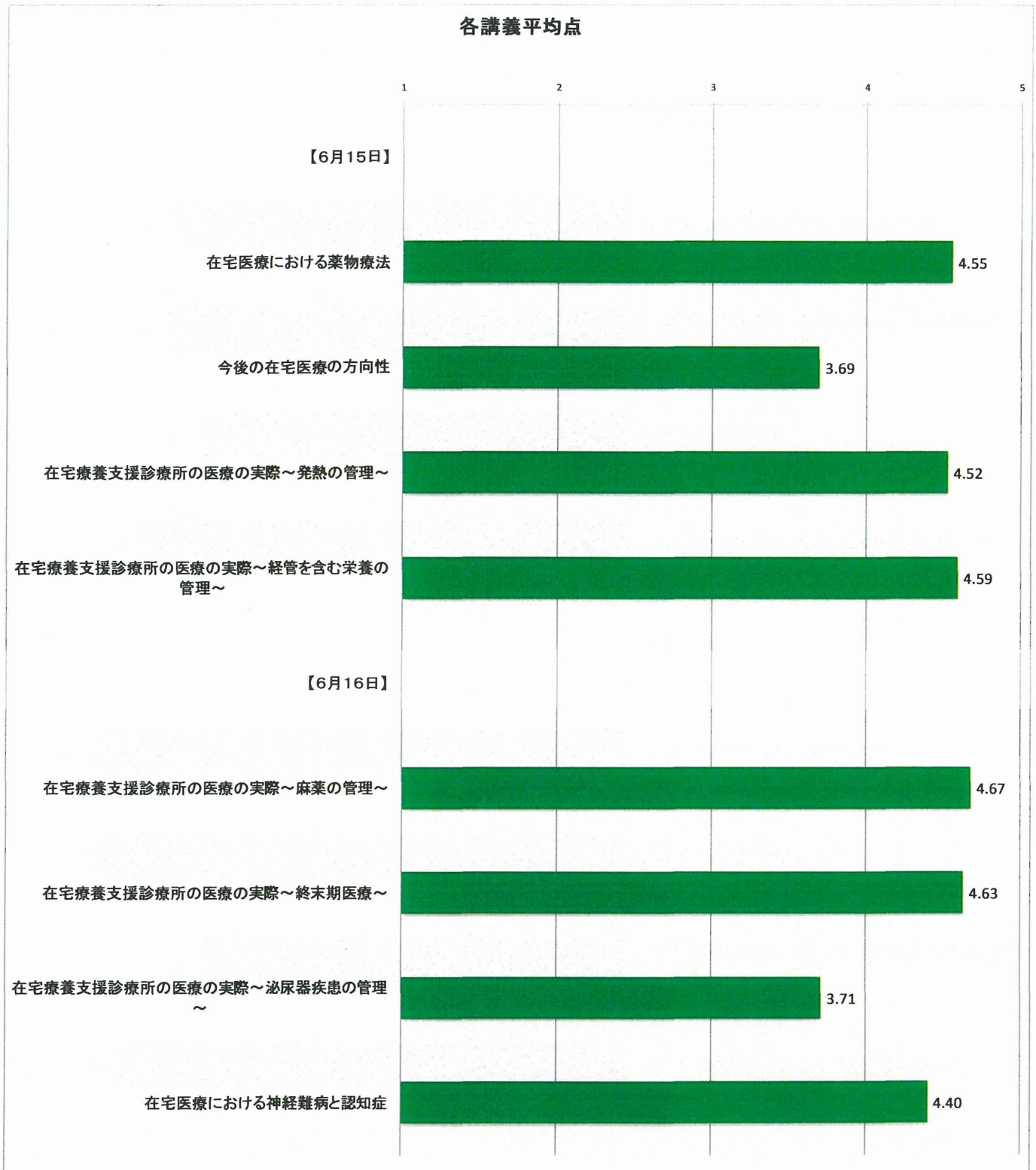


全講義の平均ポイント Part II





全講義の平均ポイント Part III



## 第2回 在宅医療認定医講座 講義のふりかえり 自由回答

4月13日(土) 講義Ⅰ 「在宅療養支援病院の実際」
臨床に使える知識を聞きたかった。
在宅医療とは何かを、資料ご提示いただきつつ分かりやすく教えていただいた。
「国は大都市を中心にして行こうとしている。」と明言されたのは、そうだろうとは思っていたが、やはりショックを受けた。
実際の内容は十分であったが、問題点や難点などの現実的な部分の提示をもっと詳細に知りたかった。
国としての全体の流れに加え、在宅をする上でのモチベーションも教えていただき参考になった。
療養型病院における在宅医療に求められる役割がわかった。
実際を紹介していただきありがたかった。私は平成25年3月まで200床弱の一般病院の常勤(内科)のかたわら、2か所の特養の配置医をしていた。配置医として日々の急変に常にオン・コールで疲弊しきり、現在(平成25年4月から)サ高住の往診へ変わり、穏やかさを感じている。しかし、どこでもお金と人の輪の問題があり、生活される方のお金が無いと非常にどれも難しく、様々なプランから何を選択するのかの難しさもお話を伺いながら感じている。
面白く、もっとじっくり聞いてみたい話だった。
療養病院から在宅療養支援病院への転換のメリットが理解できた。
実際在宅医療をされている先生のお話で分かりやすかった。
地域、地方によって在宅医療の内容は異なるという考え方は、今までそういう視点を持たなかったので新鮮に感じた。
スライドも明快で理解しやすく役立った。
在宅療養支援病院として取り組んでいるが、総括的に理解ができて大変良かった。スライドが多かった。
これからの方向性が見える話だと思った。
講師の先生の地域の現状が我が地域と近く参考になった。
内容がシンプルで理解しやすかった。
内容を絞り、基本的なところをじっくりやっていただきたかった。盛りだくさんで、基礎知識の少ない人にはわかりにくい面もあったと思う。
実践でのエピソードを踏まえた講義でわかりやすく、現場で活かせる内容であったと思った。
具体的でわかりやすく面白かった。何をすればよいかが見えてきた。
介護療養型ベッドの今後の方向について、はっきり見えてきた。
本日配布されたテキストを熟読し今後の参考にしていきたい。
慢性期病院で働いていて肌で感じていたことについて頭の整理が出来た。先生の診療風景を見学してみたいと感じた。
テンポの良い話術、資料の充実、初心者にとってわかりやすいお話だった。
「在宅療養支援病院の実際」について、もっと詳しく話が聞きたかった。
支援病院の実際より、支援病院有床診療所としてお話して欲しかった。30床⇔19床とは施行している内容では大差がない。小規模病院は積極的に有床診療所と手をつないでやってもらいたい。
新しい情報と先生がされている在宅医療介護の仕方をわかりやすく講義していただいた。
少し話のペースが速かったと思った。
レクチャーの内容をもっと絞り込んで欲しかった。
経営(診療報酬)にも踏み込んだ具体的な講義内容が大変参考になった。
「地域支援型医療拠点」の重要性を再認識した。 ・在宅の中のどの機能をめざすか? ・ポジショニングの決定
等の内容がとても印象に残り、励まされた。また様々な言葉からも先生の信条が伝わり感銘を受けた。

4月13日(土) 講義Ⅱ 「在宅医療における訪問リハビリテーションの実際」
通所リハビリなども話して欲しいと思った。
テキストの話だけではなく、会場でしか聴けない話が聞きたかった。
介護と医療の比較、それぞれのメリットとデメリット、点数計算も含めた違いが具体的に知りたかった。
訪問リハの実情が分かり参考になった。
「制度によるリハビリの違い」がよく理解できた。
医療や介護からの現行制度のややこしさが分かり難いものだと分かりホッとした。
実際に訪問リハと関わる場合が少ないため「現場の活用の可能性」がさらに難しくなったと感じた。